

さくら新聞

三月の桜園

社会福祉法人
清風会
特別養護
老人ホーム
東かなまち桜園
〒125-0041
東京都葛飾区
東金町
2丁目13番10号
03-5876-5281

第82号



3月は、夜間想定消防訓練を行いました。入居者の皆さまにもご協力いただき、貴重な訓練を行う事が出来ました。また、今年は桜の開花が早かったので、散る前にと急いでお花見もしました。桜園で入口にそびえるしだれ桜は、今年も綺麗な花を見せてくれました。

(平戸)



スタッフ紹介



福士由紀子 介護職員

今回は三丁目三番地に勤務する、福士由紀子介護職員を紹介いたします。お仕事について、プライベートについても色々質問させていただきました。

●仕事のモチベーションになっているものは？

友人や子供とお酒を飲みながら話をする事です。

身内でお酒を飲みながら他愛もない話をするのって楽しいですね。ストレス解消にもなっていますね！

●仕事の疲れを癒すのは？

整骨院に行つて体のメンテナンスをして、帰りに温泉に行く事です。整骨院でマッサージしてもらつのは気持ちいいですね。温泉はスーパー銭湯でしょうか？ 疲れを癒すには最適ですね。

●とっておきのリラックス方法は？

ソファで空き時間に「コロコロ」する事です。

何もすることもなくただただゆつくりと身を休める…最高のひと時ですよ。自分もつい「コロコロ」してしまうので分かります！

●お休みは何をしていますか？

ゆつくりと家で過ごしてから買い物に行ったりしてますね！

気分転換に買い物をして色々見て回るの楽しいですね。

●最近嬉しかった事は？

息子と旅行に行った事です。

家族旅行は気兼ねなく出来て楽しくて素敵な事が沢山ですね。

このご時世で今はあまり行きませんがまた気兼ねなく行けると良いですね。

優しく誰にでも気さくな福士職員、日々入居者様と沢山の話を楽しくさせてくれてます。

忙しい中で色々とお話を聞かせて下さりありがとうございます。これからもよろしくお願致します。

(二葉)

先月のご馳走！



今年のひな祭りの行事食では、ばらちらし寿司・鶏肉と春野菜の炊き合わせ・菜の花のわさび和え・イチゴ・清汁をご提供しました。

「ばらちらし」は、華やかな薔薇のことではなく、寿司ネタを食べやすい大きさに「ばらす」「散らす」という意味から来ているのだそうです。

季節の食材で、春の訪れを感じていただけただけではないでしょうか。

(管理栄養士・福地)

ケアマネ便り

四月に入りました。季節の変わり目ということで朝晩と日中の気温差が激しい日もあるため体調不良等には十分に気をつけております。

又、新型コロナウイルス感染症については春休みや年度替わりで人の移動が活発になるなどの影響で、再拡大の可能性は十分にあると懸念されています。先月に「まん延防止等重点措置」が、全ての地域で解除されましたが感染するリスクがなくなったわけではありません。

引き続き、これまで同様、マスクの着用、手指衛生、換気をはじめ、3密(密集・密閉・密接)を回避するなどの基本的な対策を継続していく必要があります。

そんな状況でも桜は満開でした。さくら園でも桜がきれいに咲き、ご入居者様に観て楽しんでいただきました。

(介護支援専門員・滝澤)

ユニット紹介～四丁目三番地～

今回は4-3ユニットの紹介をさせていただきます。豊田リーダー、宜しくお願ひします。

●入居者様に対して特に心掛けている事はありますか？

●常に笑顔で場が明るくなるような声掛け。

入居者に気を使わせない！急がず焦らずいつでも声掛けてもらえる体制作り。以上心がけています。

●ユニットの空間作りはどのように工夫されていますか？

●車椅子を自操しユニット間を歩き周る人がいるため、動線に物を置かないようにしています。お話が好きな人同士で席を囲み、団らんできるようにしています。

●最近やったレクを教えてください

●カラオケ会や誕生日会を行っています。

●ユニットケア的観点からこのユニットをどのようなユニットにしていきたいですか？

●入居者様は出来る限り「わがままであれ」。怪我をさせず要望に答えられるユニットを目指します。

●最近微笑ましく思った利用者のことなどありましたらご紹介ください。

●お茶の時間の後に、リビングで入居者様・職員を交えてミーティングを行い、入居者様の笑顔を引き出すことが出来ました。



回答ありがとうございます。

入居者様の生活を支え毎日を楽しみ過ごしてもらいたいという思い伝わりました。写真の入居者様も笑顔で素敵です。ミーティングの雰囲気も伝わりますね。

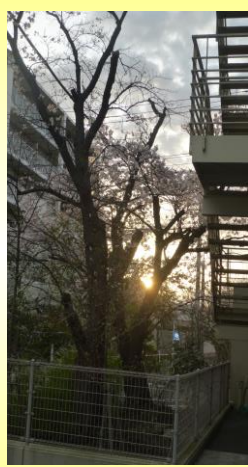
(大山)

機能訓練指導員より

桜園の桜も三月中に開花し、見ごろを迎えました。開花状況と天気にあわせて、職員が協力して入居者様をお花見にお連れしました。桜を見ると、皆さま、ほっとした表情になり、手を合わせて拝んでいる方もいらっしゃいました。

桜園も四月で開園十年目を迎えます。桜の木に見守られ、入居者様にとつての大切な居場所となるよう、機能訓練の業務に取り組んでいきたいと思ひます。

(機能訓練指導員・伊藤)



編集後記

桜園の開園十年目を祝い、入居者様が園歌を作詞して下さいました。柴田治子様の作品です。

一、都の東 葛西の地

水清き 川の流れ

田んぼ 畑に 子供は遊ぶ

仕事 終りし 爺 婆は

ぐちを話しに 集う所は

ああ 東かなまち 桜園

二、所の呼び名は 変われども

仕事する身の 心は同じ

やさしくまめな 心配り

爺婆甘えて ほつとする

疲れ癒され 癒される夜

ああ 東かなまち 桜園

三、東につくば 西に富士

朝と夕べに 眺めつつ

元気に笑えば 一日始まる

今日も 幸せ 一日終わる

喜びも悲しみも 平和なホーム

ああ 東かなまち 桜園

あとはもう、作曲して下さいる方が現れるのを待つばかりです。入居者様、職員、ご家族様を問わず、我こそはと思つ方はぜひ名乗り出て下さいませ。歌つてメロディを教えてくださいれば、こちらで楽譜にします！来年の四月、十周年記念の目玉に、みんなで園歌を合唱したいものです。

(平戸)

相談員より

今年、桜園の桜の開花がとても早く、急げ急げとお花見に出ました。暖かい日には「屋上に連れて行って」と頼まれる日もあり、入居者様とともに季節の移ろいを感じる事ができ、嬉しくもあり、心からほっとしました。我が家の庭はチューリップが咲き始めて、もう少ししたら施設に持って来ようかなあと思案中。下記にありますのが、入居者様自作の詩を目にしてご家族とも喜びや笑みを共有できました。この穏やかな日々が維持できるよう、大事にしていきたいと思つています。